

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	秦野戸川公園・山岳スポーツセンター	
各施設の概要	秦野戸川公園	神奈川県立山岳スポーツセンター
所在地	秦野市堀山下・戸川・横野	秦野市戸川1392番地
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanotokawa/	http://www.kanagawa-park.or.jp/sangaku-sc/
根拠条例	神奈川県都市公園条例	神奈川県立山岳スポーツセンター条例
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成9年7月)	県民に登山に関する知識の習得、技能の向上及びレクリエーションの場を提供し、もって県民のスポーツの振興に寄与するため(平成9年7月)
指定管理者名	公益財団法人 神奈川県公園協会	
指定期間	H27.4.1~H32.3.31	
施設所管課	都市公園課 (平塚土木事務所)	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
(一体としてのコメント) 秦野戸川公園と山岳スポーツセンターについて、提案に基づき、管理スタッフを兼務させるなど一体的な管理を実施していた。 今後も秦野戸川公園と山岳スポーツセンターの更なる連携に期待する。
■秦野戸川公園について 事業計画に基づいた業務が実施されていたが、遊具の安全確保に係る対応に不備があった。
■山岳スポーツセンターについて 提案に基づいた指定管理業務を着実に実施するとともに、物販等の自主事業等を組みあわせて、利用者サービスの向上に努めた。利用状況の評価結果がB評価、利用者の満足度の評価結果がA評価、収支状況の評価結果がA評価となったことから、平成27年度の3項目評価はA評価となった。 利用状況の評価がB評価となったことから、今後は、利用者数の目標値の達成に向けて、初心者向けのクライミング体験教室等の企画の更なる充実や各種学校・団体等への広報活動を工夫することにより、利用者の裾野の拡大に努めてもらいたい。

＜各項目の詳細説明＞	
■秦野戸川公園について	
<p>◆管理運営等の状況 「丹沢の自然に楽しむアウトドアレクリエーションパーク」を総合的な管理運営方針として事業を実施した。地域と連携しながら「秦野丹沢まつり」やメインイベント「第10回秦野戸川公園まつり」等を行い、公園の魅力発信を行うとともに、地域の活性化にも貢献していた。 一方、遊具の定期点検において、使用不可の判定を受けた後も遊具を使用可能な状態で開放していたため、来園者の安全確保の観点から、遊具の使用中止措置など迅速に対応するよう指導を行った。</p> <p>◆利用状況 利用者数が目標達成率127.1%となったためS評価となった。前年度対比では、大規模イベント時などの天候不順の影響で、13.3%のマイナスとなった。</p> <p>◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が96.2%となったためS評価となった。</p> <p>◆収支状況 有料施設の利用者数の増加に伴う収入の増、光熱水費の節減を理由とした支出の減があり、収支比率は1.4%のプラスとなったためA評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 職員の対応に苦情が寄せられたため、職員指導を徹底した。なお、職員の対応についての利用者満足度は上位2段階の回答割合が96.9%となっており、明るく感じがよいとの声が寄せられている。</p> <p>◆事故・不祥事等 木製複合遊具の定期点検で使用不可判定が出ていたが、そのまま使用可能にしていた。遊具の使用中止措置など迅速に対応するよう指導を行った。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 利用状況、利用者満足度、収支状況の評価がS、S、Aとなったことから、平成27年度の3項目評価はS評価となった。</p>	
■山岳スポーツセンターについて	
<p>◆管理運営等の状況 提案に基づいた指定管理業務を着実に実施するとともに、物販等の自主事業等を組みあわせて、利用者サービスの向上に努めた。今年度から秦野戸川公園との一体的な管理が始まったが、合同イベントの実施による利用促進、植物管理等、各種業務を相互に兼務することにより効率的・効果的な施設運営に努めた。</p> <p>◆利用状況 利用者ニーズを反映させた施設運営と事業計画に基づくサービスの向上策に取り組んだ結果、利用者数が目標達成率91.9%となり、B評価となった。前年度対比では、利用者数が4.1%のマイナスとなっているが、これは天候不順や団体客のキャンセルが相次いだことが主な要因である。引き続き、神奈川県山岳連盟と連携し、登山・クライミング教室や親子体験クライミング等のイベントを充実させるなど、登山者やクライミング愛好者はもとより、初心者等へのきめ細かいサービスを通じて利用者の裾野の拡大に努めてもらいたい。</p> <p>◆利用者の満足度 9月と翌年3月に実施し、上位2段階の回答割合が84%となったためA評価となった。利用者の声を幅広く求めるため、今期から、アンケート用紙の配布数を倍増した。回収率は、利用者に対するアンケートへの協力要請を徹底した結果、88%と高くなった。</p> <p>◆収支状況 利用料金収入は、当初予算額とほぼ同額であったが、大幅な人件費の縮減をはじめ、秦野戸川公園との一体的な管理を行うにあたり、効率的・効果的な施設運営に努めた結果、収支比率は101.57%となったため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 施設の経年劣化に伴う破損など指定管理者に起因しない要望が寄せられたが、職員による定期的な点検を踏まえた修繕を施すなど適切な対応に努めた。なお、例年より利用者からの要望が多かった宿泊室の室温に係る要望については、平成27年3月に空調機器設置工事（宿泊棟1階和室6部屋の石油暖房機をエアコンに交換）を実施したことにより、宿泊室利用者の安全とサービスの向上が図られたものとする。</p> <p>◆事故・不祥事等 利用者が蜂に刺される事故が発生したが、適切な初動対応がなされ大事には至らなかった。日頃から、職員による施設の日常点検や、専門業者への委託による施設及び設備機器（クライミングウォール等）の保全に努めた結果、施設管理の不備を要因とする事故や怪我は発生していない。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 平成27年度の3項目評価についてはA評価とした。今後は、初心者向けのクライミング体験教室等の企画の更なる充実や各種学校・団体等への広報活動を工夫することにより、利用者の裾野の拡大に努めてもらいたい。</p>	

3項目評価		
S	＜参考＞ 秦野戸川公園	＜参考＞ 山岳スポーツセンター
	S	A

S：極めて良好
A：良好
B：一部改善が必要
C：抜本的な改善が必要
※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう

< 秦野戸川公園について >

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	3月	遊具の安全確保に係る対応に不備があった。
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	2週間に1回程度	—
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		木製複合遊具の定期点検において、使用不可の判定後も遊具を開放していたことについて、指導を行った。

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
効率的・効果的な管理運営	秦野スポーツセンターとの一体的管理に伴い、管理スタッフの兼務による一元的管理を行った。 山岳スポーツセンター及び秦野ビジターセンターとの3館合同によるイベントを実施した。	—
都市近郊のアウトドア空間の魅力向上と健康・スポーツの振興	地域を代表する花修景地として、季節の花々の維持管理を行い、花の開花時期を中心に「花と緑の祭典」を実施した。 地域と連携し、マラソン大会や駅伝等の健康促進の場の提供及び運営の協力を努めた。	—
広域利用の拡大も視野に入れた地域振興の核になる公園づくり	地元農家や地元団体と連携した、農作物の販売及び収穫体験イベントを実施した。 ボランティアや地元住民の活動の場として、植物の育成や森林管理を実施した。	—
防災と安全を強化した運営管理	災害時を想定した訓練を実施した。 大雨・強風等の気象条件により、水無川の利用禁止や看板等の固定、パトロールを行い安全の確保に努めた。 地域と連携して、防災訓練を行うとともに、山岳救助訓練の場の提供を行った。	—

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
駐車場の管理運営	駐車場内や周辺道路の渋滞を防ぎ、利用者の利便性、安全性を確保するため、交通誘導警備員を配置した。 3駐車場について利用時間等が異なっており、わかりにくかったことから、見直しを行なった。
茶室の管理運営	茶室「おのおすみ山居」で、抹茶やジュース等の提供を行い、利用促進に努めていた。
バーベキュー場の管理運営	水無川右岸沿いのバーベキュー場で、鉄板、焼き網、火ばさみの貸し出し案内等の利用者サービスを行った。
自動販売機の設置	公園利用者の利便性を図るため、来園者が多く集まる場所に自動販売機を設置し、清涼飲料を提供した。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》
S	目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	510,090	664,530	575,920
対前年度比		130.3%	86.7%
目標値	405,000	405,000	453,268
目標達成率	125.9%	164.1%	127.1%

目標値の設定根拠： 前年度、前々年度：平成18～20年度実績平均の95%
平成27年度：提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： パークセンター来館者数(センサーより)推計

[参考：最大利用可能人数／年]

					合計
定員					
年間利用可能日数					
最大人数※	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》
S	「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日4回、平日4回の計8回調査	「満足」及び「どちらかといえば満足」の回答率が90%以上であり、来園者の満足度は非常に高い。

[施設としての総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 191 / 191 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
施設としての総合的評価の回答数	125	55	3	3	1	187	広くてキレイで良い場所だと思います。
回答率	66.8%	29.4%	1.6%	1.6%	0.5%		
前年度の回答数	95	22	0	3	0	120	
前年度回答率	79.2%	18.3%	—	2.5%	—		
回答率の対前年度比	84.4%	160.4%	—	64.2%	—		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 公園スタッフの対応はいかがでしたか？
 実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 191 / 191 = 100.0%
 配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえは満足	どちらでもない	どちらかといえは不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	72	22	2	1	0	97	皆さん明るく感じが良い。
回答率	74.2%	22.7%	2.1%	1.0%	—		
前年度の回答数	47	2	3	0	0	52	
前年度回答率	90.4%	3.8%	5.8%	—	—		
回答率の対前年度比	82.1%	589.7%	35.7%	—	—		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

特になし

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	84,108	500	12,100	駐車場12,100	96,708	96,708	0	100.00%
	決算	84,108	702	12,436	駐車場12,436	97,246	96,459	787	100.82%
前年度	当初予算	86,511	519	12,525	駐車場12,525	99,555	99,555	0	100.00%
	決算	86,511	801	13,371	駐車場13,371	100,683	96,865	3,818	103.94%
27年度	当初予算	93,461	750	17,703	駐車場15,908 自販機1,795	111,914	111,914	0	100.00%
	決算	93,461	834	17,428	駐車場15,347 自販機2,080	111,723	110,138	1,585	101.44%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位：千円)
 27年度 / 前年度 / 前々年度 / 該当なし

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
H28.3月	999	バーベキュー場四阿修繕(999)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等：300千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件 件		
職員対応	メール 1 件 件	職員同士が話している、カウンター対応をするのが遅かった。	職員全員に接遇について注意を行なった。
事業内容	件 件		
その他	件 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
3月18日 遊具定期点検結果報告 (外部委託による)	遊具の定期点検の結果、使用不可判定が出ていたが、そのまま使用可能にしていた。(事故の発生はなし)	一部部材の老朽化、一部規格不適合	①平成28年4月18日、ロープ等により応急的な使用中止措置を実施。 4月23日、県からの指導により、バリケードにより使用中止措置を実施。 ②来園者の安全確保を第一とし、迅速に対応を行うよう指導した。(口頭指導及び文書指導) ③使用中止措置を速やかに行なわなかった指定管理者に責任がある。使用中止となっている遊具の修繕対応等については協議中である。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	なし	
職員の配置体制	なし	
労働時間	なし	
職場環境	なし	

※指摘事項は、県による監査(包括外部監査含む)又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。

<山岳スポーツセンターについて>

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日 平成27年7月22日 平成27年11月5日 平成28年3月18日 平成28年3月24日	特記すべき事項があった場合はその内容
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	施設の設置目的及び山岳スポーツの拠点施設であることを十分に理解して施設運営を行った。	
秦野戸川公園との一体的な管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野戸川公園内にある3施設（秦野戸川公園パークセンター、秦野ビジターセンター、山岳スポーツセンター）で利用促進、課題の改善に向けた連携を図った。 ・三館共同による利用促進共同イベント「みんなで作る（秦野戸川公園）、登る（山岳スポーツセンター）、遊ぶ（秦野ビジターセンター）」を実施した。 ※山岳スポーツセンターにおいて親子体験クライミング教室を実施（講師7名、参加者12組29名） 	今年度から秦野戸川公園との一体的な管理運営を行うこととなったが、施設の管理面については、経費の節減を含めた効率的・効果的な運営を行っている点、評価できる。一方で、利用促進に係る共同イベントについては、昨年度までの経験を糧に、より魅力的な合同イベントを企画・運営してほしかった。
利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から「公平」、「透明」、「厳正」に対応した。 ・利用者満足度アンケートを実施し利用者ニーズの把握に努めた。 ・ゼロエミッション等環境に配慮した施設の維持管理に努めた。 	
スポーツ・競技振興について	<ul style="list-style-type: none"> ・登山者やクライミングウォール愛好者はもとより、何方に対してもきめ細かく対応し、スポーツの振興に努めた。 ・神奈川県山岳連盟と連携を図り、クライミング教室（10回：受講者116名、講師34名）、登山教室（13回：受講者177名、講師54名）を実施した。また、同連盟の協力を得て底辺拡大のイベントを実施した。 ①親子体験クライミング（4月19日：参加者69名）…秦野丹沢祭り（山開きの中）で実施 ②親子シャワークライミング（7月25～26日：参加者30名）…沢登り、星空観測、テント泊 ③親子体験クライミング（10月12日：参加者45名）…県民スポーツ週間及び秦野戸川公園まつりの中で実施した。 	
施設の維持管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野戸川公園との一体的な管理運営にあたって、清掃管理は委託することにより、常に清潔で快適な環境の維持に努めた。また、植物管理等については業務を相互に兼務するなど、効率的な維持管理に努めた。 ・館内電気点検、害虫消毒等高度な技術や専門的な資格を要する業務については専門業者に委託し、適正な維持管理に努めた。 	
利用促進を図るために行う広報、PR活動、登山・山岳競技等の振興に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「山岳スポーツセンター条例」及び「利用等に関する規則」を遵守し利用者の確保に努めた。 ・ホームページによる情報や施設案内を掲示することによって、施設の利用が円滑に行われるよう努めた。また、大倉バス待合所、戸川公園パークセンター及び山岳スポーツセンター付近の案内掲示を更新する等して利用者の拡大を図った。 ・神奈川県山岳連盟との連携を図り、クライミング教室、登山教室等円滑な事業の実施に取り組んだ。 	

利用促進を図るためのサービス（接客、ニーズ、苦情の把握処理）の向上に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査を実施し、要望可能な事項については対応した。 ・利用者の声に耳を傾けつつホームページ、パンフレット、施設利用案内チラシで公正に説明し、利用者のご理解を頂きながら利用承認事務を行った。また、施設予約状況を小まめに更新し利用者の利便を図った。
事故防止等安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止、火災防止や犯罪発生防止のため、職員不在の夜間、休館日の機械警備委託を行い安全の確保に努めた。 ・「事故防止点検マニュアル」に基づく日常点検を実施して事故防止に努めるとともに、クライミング利用者への利用開始前の事故防止の周知を行った。 ・事故や災害発生時等の緊急時の体制及び初動対応に従い、適切な備えを行った。警報発表時には必ず施設のパトロールを実施した。 ・年2回の消防訓練の実施。上級及び普通救命講習受講者を配置し、急病人等の発生に備えた。
地域と連携した魅力ある施設づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・登山者遭難救助連絡会で得た情報を登山愛好者や登山教室で伝え、安全な登山の一助に努めた。 ・地域に精通している地域企業への優先発注のほか、地元非営利団体等への業務委託を行った。 ・地元中学校の職場体験の受け入れなど地域との連携に努めた。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の提案内容	実施状況等
利用者サービス向上のための物販等	<p>自炊施設であるため、食事機能の補完として、バーベキューセットの貸出等を行った。また、地元仕出し屋の斡旋及びカップ麺の販売などを行い好評を得た。</p> <p>《実績》 カップ麺 98件 バーベキューセットの貸出 27件</p>

5. 利用状況

評価	<p>《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。</p>
B	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	10,208	10,930	10,481
対前年度比		107.1%	95.9%
目標値	9,400	9,200	11,400
目標達成率	108.6%	118.8%	91.9%

目標値の設定根拠： これまでの平均利用者数をもとに、近年の利用状況等を鑑みて算出

利用者数の算出方法（対象）： 宿泊利用、宿泊を伴わない休憩利用、研修室利用、屋外クライミングウォールの利用者をカウント

〔 参考：最大利用可能人数／年 〕 ※利用種目、時間、流動人数など条件により異なり算出不可

					合計
定員					
年間利用可能日数					
最大人数※	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》
A	「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年間2回を9月と翌年3月に調査	協定に定めた年間2回を9月と翌年3月に実施した。結果として、利用者の声を反映させた施設の維持管理が評価されたため、上位2段階の回答割合が84%と高く評価された。

〔施設としての総合的評価〕

質問内容 施設の管理に対する満足度について該当する印象に○を付けてください（総合評価）。

実施した調査の配布方法 窓口で配架、利用者等に直接配布 回収数／配布数 258 / 292 = 88.4%

配布(サンプル)対象 施設の利用者

	満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
施設としての総合的評価の回答数	124	86	36	4	0	250	・また利用させていただく。 ・風呂があるとうれしい。 ・登山教室を受ける機会があれば受けてみたい。
回答率	49.6%	34.4%	14.4%	1.6%			
前年度の回答数	43	52	21	0	0	116	
前年度回答率	37.1%	44.8%	18.1%	0.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	133.8%	76.7%	79.5%	#DIV/0!	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

〔参考：職員の対応状況〕

質問内容 施設の管理に対する満足度について該当する印象に○を付けてください（接客対応）。

実施した調査の配布方法 窓口で配架、利用者等に直接配布 回収数／配布数 258 / 292 = 88.4%

配布(サンプル)対象 施設の利用者

	満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	123	72	50	3	0	248	・スタッフの対応ですが、もう少しにこやかな顔で接してほしいです。
回答率	49.6%	29.0%	20.2%	1.2%	0.0%		
前年度の回答数	39	47	30	1	0	117	
前年度回答率	33.3%	40.2%	25.6%	0.9%	0.0%		
回答率の対前年度比	148.8%	72.3%	78.6%	141.5%	#DIV/0!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

〔参考：その他〕

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超える マイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入			支出	収支差額
前々年度	当初予算	16,366	5,183			21,549	21,549	0	100.00%
	決算	16,366	5,574			21,940	20,227	1,713	108.47%
前年度	当初予算	16,834	5,355			22,189	22,189	0	100.00%
	決算	16,834	6,390			23,224	20,754	2,470	111.90%
27年度	当初予算	9,339	5,979			15,318	15,318	0	100.00%
	決算	9,339	6,014			15,353	15,115	238	101.57%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)
 27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所管繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
平成28年3月	1,188	宿泊棟1階空調機器設置工事(1,188千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300 千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
10月3日	山岳ガイド宿泊研修中、利用者がスリッパに潜伏していたスズメバチに足の指を刺された。	開放した窓等から進入したと思われる。なお、館内外を調査した結果、蜂の巣は確認されなかった。	①初動対応として、刺された本人から報告を受け救急車を要請し、病院へ搬送した。診断の結果、体調等に問題はなかった。館内への害虫の侵入を未然に防ぐための再発防止策として、指定管理者が開放されている窓等の施錠点検を従来より多く実施したり、利用者に対する呼びかけ等の対策を講じている。 ②県として施設内における蜂の巣等の調査を指示した。現場臨場、随時モニタリング等は実施していない。 ③事故後、体調状態等に問題がないことを指定管理者が被害者に確認している。日ごろから職員による施設内調査を随時実施し、蜂の巣等を撤去するとともに、利用者に対して窓の開閉についての注意喚起を行っているが、再発防止に向けてより徹底して行うようにしている。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。